マクロの基礎知識 1
VBAの基礎知識 2
プログラミングの基礎知識 3
セルの操作 4
ワークシートの操作 5
Excelファイルの操作 6
高度なファイルの操作 7
ウィンドウの操作 8
リストのデータ操作 9
印 刷 10
図形の操作 11
グラフの操作 12
コントロールの使用 13
外部アプリケーションの操作 14
VBA関数 15
そのほかの操作 16
付 録

❶ VBEを起動し、コードを入力

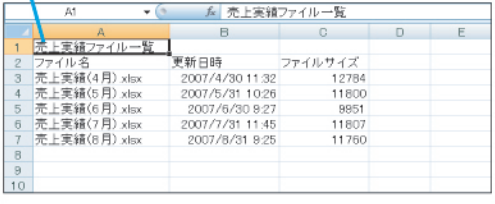
参照 VBAを起動してマクロを作成するには……P.93

```
(General)                                   全ファイル情報一覧
Sub 全ファイル情報一覧()
    Dim myFSO As New FileSystemObject
    Dim myFolder As Folder
    Dim myFiles As Files
    Dim myFile As File
    Dim i As Integer
    Set myFolder = myFSO.GetFolder("C:¥売上実績")
    Set myFiles = myFolder.Files
    i = 3
    For Each myFile In myFiles
        Cells(i, 1).Value = myFile.Name
        Cells(i, 2).Value = myFile.DateLastModified
        Cells(i, 3).Value = myFile.Size
        i = i + 1
    Next
End Sub
```

❷ 入力したマクロを実行

参照 マクロを実行するには……P.54

各ファイルの情報がセルに表示された



A1 売上実績ファイル一覧

	A	B	C	D	E
1	売上実績ファイル一覧				
2	ファイル名	更新日時	ファイルサイズ		
3	売上実績(4月).xlsx	2007/4/30 11:32	12784		
4	売上実績(5月).xlsx	2007/5/31 10:26	11800		
5	売上実績(6月).xlsx	2007/6/30 9:27	8851		
6	売上実績(7月).xlsx	2007/7/31 11:45	11807		
7	売上実績(8月).xlsx	2007/8/31 8:25	11760		
8					
9					
10					

HINT バージョンによるファイルサイズの違い

Officeアプリケーションのファイル形式が、Office 2007からOffice Open XML 形式という新しい形式に変更されました。したがって、FileオブジェクトのSizeプロパティが返すファイルサイズの値は、Excel 2002やExcel 2003で実行した場合と、Excel 2007で実行した場合とで違いがあります。Excel 2002やExcel 2003で実行した場合のファイルサイズのほうが大きい数値になります。

参照 Office Open XML形式とは……P.907

テキストファイルを開くには

オブジェクト.OpenTextFile(FileName, IOmode, Create)

▶解説

FileSystemObjectオブジェクトでテキストファイルを開くには、OpenTextFileメソッドを使用します。OpenTextFileメソッドは、テキストファイルをTextStreamオブジェクトとして開きます。開くときは、目的に合わせて、引数IOModeに入出力モードを指定します。

参照 シーケンシャル入力モードとは……P.470
参照 シーケンシャル出力モードとは……P.472
参照 追加モードとは……P.473

▶設定する項目

オブジェクト ……FileSystemObjectオブジェクトを指定します。

FileName ……開きたいテキストファイルの名前を含むパスを「"（ダブルクオーテーション）」で囲んで指定します。ファイル名だけを指定した場合は、カレントフォルダ内のファイルが対象となります。

IOmode ……入出力モードをIOModeクラスの定数で指定します。省略した場合は、ForReadingが指定されます（省略可）。